

同友会三つの目的

「よい会社、よい経営者、よい経営環境をめざす」

- ①同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします。

おきなわ同友会しんぶん
ニライ みらい

2021年(令和3年)1月号
No. 394
 発行：沖縄県中小企業家同友会
 編集：広報委員会
 〒901-0152 沖縄県那覇市字小嶽1831番地1 沖縄産業支援センター603号
 ☎098-859-6205(代) FAX.098-859-6208
 http://www.okinawa.doyu.jp
 E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp



うるま市の闘牛

(写真提供：闘牛実況アナウンサー 伊波大志)

古くから大衆娯楽として親しまれてきた沖縄の闘牛は、牛と牛とが戦う迫力満点の歴史あるイベントです。なかでも、うるま市は「闘牛のまち」として知られ、「全国闘牛大会」など、大勢の闘牛ファンが訪れます。

明けましておめでとうございます。
 二〇二〇年は新型コロナウイルスの影響により激動の一年となりました。このコロナ禍において、同友会は「一社もつぶさない！」を合言葉に



代表理事 真栄田 一郎

活動を継続してきました。同友会の『労使見解』の第一章には「経営者である以上、いかに環境が厳しくとも、時代の変化に対応して、経営を維持し発展させる責任がある」と記されています。経営環境は今、まさに激変しています。今年はいよいよこの同友会の学びを実践に移す年です。業態転換を含め、経営者として、どのように苦境を乗り越え、社員を守るた

めに何をすべきか真剣に考え、行動していきましょう。コロナは必ず収束します。ピンチの後には必ずチャンスがきます。企業存続・発展に向けた全社一丸の取り組みは、強靱な企業づくり、社員の劇的な成長につながるはず。このピンチを乗り越え、一回り大きくなった会員の皆さんと美味しいお酒を飲みながら語り合えるのを楽しみにしています。(宮城光秀)

今こそ、全社一丸の取り組みで、
 自他ともに成長する機会に

同友会の仲間皆さん、明けましておめでとうございます。
 昨年は新型コロナウイルス感染症に始まり、その対応に終始した一年でした。観光産業が県経済に与える影響は年々大きくなっており、その中で新型コロナウイルス感染症拡大は、県経済に



代表理事 喜納 朝勝

とつて大きな打撃になりました。さらに年末年始のGoToトラベルの中断はさらに県経済には打撃になります。このような経済環境になることは誰も予想していなかったと思います。同友会の仲間の企業でも、多くの企業が影響を受けています。なんとか一社も潰れることなく、この危機を乗り越えていきましょう。いま、起こっていることは変えることができません。変えることができないことは、受け入れて、そこからありたい姿へ向かって歩みを進めていく

ことが何より大切です。困っていることがあれば、一人で悩まずに、周りの人や同友会の仲間と相談をして、手を打っていきましょう。コロナ禍のような非常時こそ、経営者としての真価が問われると思います。
 令和三年、辛・丑(かのとうし)の年は新たな息吹が生まれてくるチャンスでもあるそうです。明るい未来をイメージして、同友会企業として誇りをもち、「人を生かす経営」を実践する年にしていきましょう。

同友会企業として誇りを持ち、
 「人を生かす経営」を実践しましょう

茶論 「三日のよる金よう日きゅうりようびうなぎたべたよぼくのたべり」で「ごはんたべたあと、ビーズのCD」だったよ。ぼくのおかねで「これは、当社社員の小橋川聖さんが見せてくれたメモの一部です。彼は知的障害があり、うまく話をするのができません。そのため伝えたいことがある時は、このようにメモを書きます」▼小橋川さんは、今月末でちょうど勤続十年になります。初めの頃は手作業しか出来ませんでした。しかし、着実に仕事を覚えて、今では高圧洗浄機を使ってバックホウや仮設トイレの洗浄作業も一人で行ないます。私は毎月のように、彼からこのような報告を受けます。その度に、「自分で働いて得たお金で好きなものを買ったり食べたりすることは、こんなに嬉しいことなのか」「自分が稼いだお金で大切な人へ何かしてあげることが、こんなに尊いことなのか」と気づかされました。▼コロナ禍の中、新年が明けました。丑年は、先を急がず一歩一歩着実に物事を進めることが大切なのではないでしょうか。ゆっくりとではあります。確かに成長を重ねる彼の姿と重なります。▼まだまだ困難な状況が続いていますが、労使見解が示す「経営者の責任を全うするため、一歩ずつ着実に歩んで行きましょう。(宮城光秀)

新春 デジタルホスピタリティの時代へ！！

～「彩発見」で上昇機運をつくる～

鼎談

出席者
 ●(財)沖縄観光インバウンドセンター
 下地 芳郎氏 (会長)

●(株)丸忠 社長
 喜納 朝勝氏 (代表理事)

●マエダ電気工事(株) 社長
 真栄田 一郎氏 (代表理事)

二〇二〇年を振り返って



下地芳郎氏

これからも増える見込みでした。その中でも、観光客の増加が、県民の生活の豊かさに繋がっていないという大きな課題がありました。

喜納 明けましておめでとうございます。昨年は「コロナ」での大変な一年でした。経営には、上り坂、下り坂、まさかがある、と言いますが、このまさかのときに、コンベンションビューロー会長に下地さんが就かれたのは、何かのめぐり合わせです。やはり乗り越えられる人しか、そういう役は与えられないのだらうなと思っております。今日は、お越しいただき、感謝申し上げます。

真栄田 明けましておめでとうございます。昨年は、観光に限らず、経済全体、社会全体、世界中で本当に大きな危機となりました。沖縄に関しては、やはりサービス産業への影響が大きく出ています。特に人が動いて成り立つ産業としての観光が大きなダメージを受けています。今後、どう回復させていくか、今日は下地会長からしっかりと学びたいと思います。

下地 明けましておめでとうございます。二〇一九年の状況は、暦年という観光客も一千万人に到達し、観光客は非常に増えてきて、

題、観光客の増加が沖縄県全体の豊かさに繋がるために、中小、小規模企業が多い私達同友会の一社一社が生産性を高めて、まずは利益体質をつくらないと、沖縄県の発展はないと思っております。私達は業種業態いろいろですが、観光に対するアプローチは違っても沖縄を豊かにする、沖縄県を誇れる島にする、そういう想いは一緒ですよ。

下地 観光客を捉えて、量から質への転換を図ろうとよく言われます。これは量が悪いわけでは

沖縄のワーケーションを社会・経済で認知させる

喜納 このコロナ禍で、キーワードとして注目されているのが、リモートワークとか、ワーケーションです。その意味では、沖縄は最適ですよ。東京、大都市一極集中ではなく、分散型で、沖縄に住みながら仕事をする人たちが増える、また新たな「観光」となるのではないのでしょうか。

下地 コロナによって大きな変化が生まれていまして、働き方そのものが変わっていく。東京辺りの大きい企業に聞くと、この春以降、感染が収まったとしても、全員が出社という形はほとんどない。中小企業も含めて、働き方改革におけるテレワークは、一定程度進むだろうと思っております。その流れと旅行とをどう結びつけるか、これ

りません。一定の量は当然必要ですので、量を確保しつつ、質を高めていく。量から入るのではなくて、しっかりと理解してくれる観光客を増やしていく。この発想を少し意識し、両方持たないと、とにかく呼んでさえ来れば、あとは何とかなるというふうな状況だと、やっぱり地域住民とのギャップが出てしまっています。今の状況から回復していく中でも、理想的には、去年の課題はそのまま大事なポイントだと思っております。

真栄田 実践として我々からやるべきですね。私達が県外に出る時、会議が昼からで、夕方まで終われば、最終便で帰らず、一泊して、ご当地の文化に触れ、企業視察をして帰ってくる。そういう習慣があれば、課題も見えてくるかもしれません。

下地 そうですね。日本の経済は、個人消費が半分ぐらいを占める経済の仕組みですから、今のようになかなか外出もままならないとなると、消費が伸びない。少しでも地域において消費活動をしていけるムードが高まれば、一定の効果はあるかなという感じです。

喜納 先日、藻谷浩介氏の講演で話を聞きました。彼が強調したのは、地産地消です。地元で消費するものは地元

まで観光地にとつては新しいチャレンジです。沖縄は、年間を通して温暖でもあるし、自然環境に恵まれ、密ではないところで仕事もできるし、リフレッシュするための資源はいっぱい。沖縄の可能性は高まっていると感じています。リフレッシュし、よりモチベーションを上げて生産性を高めるとい意味において、沖縄のポテンシャルは非常に高いので、あとは沖縄でのワーケーションを社会、経済界がしっかりと認知をして、促進してもらえればポイントだと思います。

真栄田 これまでは、朝一便で来て会議が終わったら、最終便で東京に着くのは二十三日、自宅に着くのは二十四時過ぎとか、それでまた翌日朝から仕事という、そういう流れが日本人の働き方だったと思います。

下地 沖縄でワーケーションをいっばいやっている企業こそが全国で評価されると思います。沖縄や、北海道など、地方経済へ貢献をする企業の価値、ブランド価値が高まるという、そこまで持っていけないと、やはりワーケーション、ワーケーションと騒いでいても、なかなか前に進まないでしょうね。

真栄田 実践として我々からやるべきですね。私達が県外に出る時、会議が昼からで、夕方まで終われば、最終便で帰らず、一泊して、ご当地の文化に触れ、企業視察をして帰ってくる。そういう習慣があれば、課題も見えてくるかもしれません。

下地 そうですね。日本の経済は、個人消費が半分ぐらいを占める経済の仕組みですから、今のようになかなか外出もままならないとなると、消費が伸びない。少しでも地域において消費活動をしていけるムードが高まれば、一定の効果はあるかなという感じです。

喜納 先日、藻谷浩介氏の講演で話を聞きました。彼が強調したのは、地産地消です。地元で消費するものは地元



喜納朝勝氏

「永久劣後ローン」署名活動を延長

9月より署名活動を行っている「永久劣後ローン」創設を求める署名は、12月21日現在、2484筆が集まりました。目標の1万筆には届いていないため、12月理事会において12月末日までの取り組みを、1月31日まで延長することを決定しました。1万筆目標達成に向け、引き続きご協力の程、宜しくお願いします。

の割引と「コロナ」トラベルを併用すると一百万円のバスツアーも二千円ぐらいで行けるというお得感があります。この機に旅行会社には県民向けバスツアーの開発を期待しています。そうすると県外の観光客が、レンタカー中心からバスを利用する選択肢に広がる効果があります。

個人の旅行で来た人が、今日はレンタカーを置いてバスツアーがあるなら乗ってみようかというの、全国どこにでも、海外に行っても、あることです。オープンナルツアーも、少し開拓していくことが、今年のチャレンジではないでしょうか。

喜納 一番近い台湾の市場をどう見えていますか。

下地 台湾は九州と同



いきなり。真栄田 話は変わりますが、修学旅行が回復はしつつありますね。修学旅行生は、とても重要だと思えます。リピーターになる可能性が一番高い人たちです。最初に修学旅行で来て、良かったからまた大学時代に来る。社会人になってからも来る。リピーターになる可能性が一番高い人たちを何とか維持できるような、修学旅行の誘致に

「彩発見」で内・外の修学旅行をつくる

じ広きで、国内旅行は今、非常に活発です。ただ、海外に関しては、レジャーマーケットを閉じている状況です。留学生やビジネスの関係は、東京、成田で徐々に台湾便も戻っています。が、レジャーマーケットの便が、回復していません。これを三月までには何とか、経済界の交流プログラムで、一日一便ぐ

はぜひ力を入れていただきたいなと思います。下地 これまで沖縄はずっと修学旅行に力を入れてきました。もともとその柱は平和学習で沖縄の戦争の歴史、平和を求める姿勢を子供たちに学んでもらうという、慰霊訪問団から始まっています。今は、修学旅行という形で、教育の現場から沖縄の歴史を学んで理解をしてもらうことで、リピーターに繋がっています。

はとても心強いメッセージだなと思っています。喜納 素晴らしいですね。下地 修学旅行は、沖縄の受け入れ対策も大事ですが、実施する学校側に参加したり、台湾政府観光局と包括連携協定を結んでいますので、代表といるいるお手紙でやりとりしています。何とか、インバウンドにおいて台湾を一つの切り口にして

はとでも心強いメッセージだなと思っています。喜納 素晴らしいですね。下地 修学旅行は、沖縄の受け入れ対策も大事ですが、実施する学校側に参加したり、台湾政府観光局と包括連携協定を結んでいますので、代表といるいるお手紙でやりとりしています。何とか、インバウンドにおいて台湾を一つの切り口にして

初めて七〇〇人規模で修学旅行を実施していただきました。これには、学校の先生方の努力があり、感謝しています。印象的だったことは、保護者にアンケートをしなければならず、今年は控えたほうがいいという声が出るの分かっていたので、どうやったら修学旅行が沖縄でできるかという視点で対策を全部出して実施にまで至りました。これ

はとでも心強いメッセージだなと思っています。喜納 素晴らしいですね。下地 修学旅行は、沖縄の受け入れ対策も大事ですが、実施する学校側に参加したり、台湾政府観光局と包括連携協定を結んでいますので、代表といるいるお手紙でやりとりしています。何とか、インバウンドにおいて台湾を一つの切り口にして

の復興委員会の席で発言しましたが、子供たちに首里城の復興をしつかり見てもらおう、最低でも那覇市内の小中高の子供たち全員が、首里城の復興状況をしっかりと毎年見に行く必要があります。これは子供たちに限りません。観光に関する我々は頻りに首里城へ行きま

デジタル化が中小企業の大きな課題に



真栄田一郎氏

喜納 もう一つ視点を考えると、沖縄はコロナの前から、観光が経済を押し上げ、県外、海外からホテルを始めいろいろな投資が結構あって、現在も進んでいるホテル建設があるくらいです。それが今後、観光が戻るまで、ちよつと心配だと思つては、ホテルが増えることで、地元の資本力のないホテルなどは、また悪循環に入つて、ダンピングが始まらないかなと。

喜納 もう一つ視点を考えると、沖縄はコロナの前から、観光が経済を押し上げ、県外、海外からホテルを始めいろいろな投資が結構あって、現在も進んでいるホテル建設があるくらいです。それが今後、観光が戻るまで、ちよつと心配だと思つては、ホテルが増えることで、地元の資本力のないホテルなどは、また悪循環に入つて、ダンピングが始まらないかなと。

が、一般の県民も、首里城の再建、復興のプロセスをしつかり毎年自分の目で見て欲しいですね。このことが、首里城の火災に対して、県内外から五十億円以上、支援をしていただいた人達に、地元からの発信となります。大事なことだと思つています。

下地 県内学校の修学旅行を県内で、というのも一定程度ありますけれど、まだまだ多くの学校がというところまでにはなっていない。そこはこの「彩発見」という意味で、意外と知らない地域として、学校側が意識的に取り組んでいただきたいと思つています。

喜納 ですからこそ、沖縄の歴史・文化をもつと子供たちに勉強して欲しいという思いがあります。下地 そうです。特に首里城に関しては、県

食、土産品等も含めて、小規模の企業も多いので、大規模なホテル、旅行会社から、個人経営まで幅広い中で、このコロナ禍で顕著になったデジタル化について、どこまで取り組むかが大きな分かれ目になります。沖縄の企業、個人がもともと持っているアウトウイムチや、人の直接的なホスピタリティに加えて、デジタルホスピタリティの部分が必要で、非接触型に一層向かっていくのはもう間違いないので、沖縄こそ逆にデジタルもうまく使えるはずで、基本は人のホスピタリティ

企業家が観光客へのアプローチを強める

下地 観光客と県民の消費には決定的な違いがあります。同じ生活する人ではありますが、使うお金が違うし、マーケットも違います。これからの回復していく観光客、どういった方が来ていて、どういう消費活動をしていくかを見据えて、これまで以上に皆様同友会の企業家メンバーが観光客に対するアプローチを自ら強めたいと思つています。

また、県民サイドでも、観光客の活動に対して、

リタイアで、これをバックアップするデジタルホスピタリティ力というのが、ある社会は強いはず。喜納 今後、七割経済が予想される中で、私達は業種業態に関係なく、持続可能な組織を目指して、様々な手を打ち、損益分岐点を下げよう利益を出していくか、そこが一番大きな課題です。そのために、コロナ禍でもオンラインでずっと勉強会・研修会を続け、動きは止まらせないで、逆に会議・会合の回数は、平時より増えています。下地 それは素晴らしいですね。喜納 我々が沖縄の経済を支えていくという強い使命感を持って、中小、小規模が頑張つて、沖縄を良くしていくという自負心を持っています。

下地 観光客と県民の消費には決定的な違いがあります。同じ生活する人ではありますが、使うお金が違うし、マーケットも違います。これからの回復していく観光客、どういった方が来ていて、どういう消費活動をしていくかを見据えて、これまで以上に皆様同友会の企業家メンバーが観光客に対するアプローチを自ら強めたいと思つています。

2021 新春のつどい

新春講演 沖縄発世界へ、関わる人すべてを幸せに！
～シンプルな発想で、地方から積み上げる～

2021年1月20日水 16:00～18:30(受付/15:00)

※コロナの状況次第では、ZOOMのみの開催になる可能性があります。

講師 株式会社ディーズプランニング(やっばりグループ) 代表取締役 義元 大蔵氏

会場 パシフィックホテル沖縄2F (会場での参加は「コロナ」対策のため限定60名) 那覇市西3-6-1 TEL:098-868-5162 ZOOM (オンラインにて会場中継)

内容 第I部「新春講演会」(16:00～17:30) 第II部「名刺交換会」(17:40～18:30)

参加費 1,000円(当日申し受けます) ※現地参加者のみ(ZOOM参加は無料)

て、観光立国であれば、外国人観光客が地域経済に大きな効果をもたらしている。観光客を対象とする航空路線をどうやったら再開できるか、そういう議論を進めて欲しいです。レジャーマーケットは一番最後になると、結局いつになるか分からないので、先ほどの修学旅行と一緒に、どういう条件だったから観光交流ができるか、制限をつけた交流からスタートさせたいと思つています。

喜納 できる方法を考えて、前に進めたいですね。共に県経済の再興に尽力してまいります。真栄田 今日はお忙しい中ありがとうございます。

おきぎんグループ
経営支援プラットフォーム
「おきぎん Big Advance」の
サービス開始について

沖縄銀行は、地域の事業者さまの経営支援を強化する為、11月16日より「おきぎんBig Advance Basic」並びに「おきぎんBig Advance」のサービスを開始しています。

新型コロナウイルス感染症の影響で多くの事業者さまが経営課題に直面している中、ICT・デジタルチャネルを活用し、お客さまが抱える販路開拓から内部管理体制構築といった幅広い経営課題解決及びDX化の支援を行うことが可能となります。

「Big Advance」は、経営支援プラットフォームとして、全国50以上の金融機関で導入されていますが、その中で無料版サービス（おきぎんBig Advance Basic）の提供を行う金融機関は、弊行が日本初となります。本取組みにより、地域の活性化及び産業の振興に貢献することを期待しています。

沖縄銀行は地域の金融機関として、今後も良質なサービスを提供することでお客様の企業価値の向上を支援し、ひいては地域社会全体への活性化に貢献して参ります。

【サービス概要】

- (1)「おきぎんBig Advance Basic」（無料版）
- ①目的：お客さまとのコミュニケーションの深化
- ②概要：デジタルを活用したコミュニケーション、情報発信機能、販路拡大支援等
- (2)「おきぎんBig Advance」（有料版）
- ①目的：お客様の課題解決、DX化支援
- ②概要：デジタルを活用した、全国金融機関の取引先との広域マッチング、福利厚生、クーポン発行等の売上拡大支援機能、社内チャット、HP制作、安否確認サービス等の内部体制構築支援

沖縄銀行 法人事業部 沖縄みらい元気応援室 翁長 良樹



十二月四日にうりずん十二月部会例会&忘年会が開催されました。(旬)おおば・専務取締役の大庭恵梨花氏に、「極めて平均的な女の子が次期社長に！事業承継奮闘記」のテーマで報告頂きました。

大学生時代は、家業をつぐことを全く考えていなかったのですが、父親（創業者）からの説得で、おおばへと入社します。説得の背景には、タバコの卸免許は、血族しか継承できない理由があるからと振り返っていました。



大庭 恵梨花 氏

次期経営者になろうと決断したきっかけは、第一子を出産した時。子供を抱いた時に「子供が欲しい」と言った時に「叶えられるか？ちゃんと育てられるか？と急に不

安になり、お金を稼がないといけないと決意したと話されていました。そこから、本格的に経営について勉強をはじめ、経営指針作成講座などを受講します。学ばずぶ程に、創業者との喧嘩が増え、親子仲は徐々に悪くなり、社員さんにも影響が出るほどに。このままではダメだと思いい、父親と向き合う為に、時間の共有、話を聞くことから始めたそうです。話を聞くことで、創業者の考えを知ることができ、自分の考えを押し通し過ぎていたこと、創業者の想いがとても強いことなどを実感したそうです。また、提案するだけでなく、結果を出すことで、認めて貰えるという

実感も得てきていると話されています。最後に、失敗しても何でも言いやすい環境、仕事で夢中になれる環境づくりをしていきたいと語られています。(三重金属工業(株)・土地裕介)

八重山支部12月ボウリング交流会
支部設立三十周年への
景気づけにボウリング交流会

二〇二一年は支部設立三十周年！おめでとうといふこと、景品が掛かっているお祝いでもよいよね、という事で、十二月六日に「八重山支部設立三十周年記念ボウリング交流会」が開催されました。杉浦支部長提供のトロフィー・優勝盾を筆頭に、商品券・お食事券・化粧品・開発中のお菓子などの豪華景品が充実のラインナップでした。



優勝は 津嘉山 航氏

さて、家族でも楽しむことが出来るボウリングですが、景品が掛かっている勝負とあれば上手な人そうでない人のハンデもきちんと考えなければなりません。そこでお子様参加のところ+αのグループは「ガーターなしレーン」、上手な人は「マインボール使用禁止などのルールを設けました。日曜ということもあり、ビール片手に始まったゲームは一進一退の熱戦でしたが、ガーターなしレーンはまあまあそこそこ、マイボールを禁止された上手な方々は、揃って至って普通な方々へと変貌してしまし、白熱した展開となりました。

結果、栄える優勝に輝いたのが、(株)ゆにばいしがき・津嘉山航社長！会員はもちろん、一緒にプレーした家族の前で、見事優勝トロフィーを獲得しました。その後はボウリング場に隣接する居酒屋に場所を移し、二〇二一年とボウリングの反省を酒の肴に、豪華景品が成績順に授与されました。今年は何かと静かに過ごすことが多い年となった中、来る二〇二一年の三十周年記念のお祝いに向け、良い交流会となりました。(旬) PLANPLAN・宮良 高彰)

「e.doyu(イードュー)」
を使っていますか？

e.doyuには、行事案内の他、自社の健康診断ができる「企業変革支援プログラム」など、情報がてんこ盛りです。ID・パスワードがわからない方は事務局までお問合せください。

TEL 098-859-6205
 doyu@okinawa.doyu.jp

ことばと商習慣の違いを解消するサポート会社

有限会社 アンテナ

代表取締役 石原 地江
 kuni@antenna-okinawa.co.jp

- ◆ 海外進出支援
- ◆ 米軍契約入札支援
- ◆ 接客英語研修
- ◆ 通訳・翻訳
- ◆ 海外相続人との調整

〒900-0013 沖縄県那覇市牧志2-22-36 (3F)
 Tel: 098 (860) 5218
 Fax: 098 (860) 5219
 www.antenna-okinawa.co.jp

世の中は光で溢れている

maeda
 electric construction

マエダ電気工事株式会社 代表取締役 真栗田 一郎
 〒900-0025 那覇市蓮川1-15-11 http://www.maeda-tyo.co.jp

～人の心と心をつなぐキレイの伝道師～

株式会社 丸 忠
 ハッピークリエイター

代表取締役 きな ともかつ (30番■)
 喜納 朝勝

〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-19-8
 TEL:098-877-6848 FAX:098-877-4323
 E-mail:t-kina@i-maruchu.com
 http://kireimaru.jimdo.com/
 フロアリング専用L
 http://www.mirrorcoat-okinawa.com

okicom

謹賀新年
 旧年中は特別のご愛顧を賜り誠にありがとうございました。本年も地域未来牽引企業としてITを通じて社会に貢献できるよう邁進して参ります

代表取締役 小渡 介
 株式会社 okicom
 本社：沖縄県宜野湾市大山1-17-1
 TEL: 098-898-5335
 FAX: 098-870-2088
 URL: http://www.okicom.co.jp/

地域未来牽引企業

有限会社 大宮工機
 赤土対策・濁水処理 建設機械レンタル

専務取締役 宮城 光秀

本社：〒901-0417 沖縄県島尻郡八重瀬町字外間99番地1
 TEL(098)851-9203 FAX(098)851-9204
 機材：〒901-1115 沖縄県島尻郡南風原町字山川285番地1
 センター TEL(098)889-6166 FAX(098)888-3424
 E-mail:m-miyagi@ohmiyakouki.com

SogoHoso
 包装資材・包装機械・食品機械・物流機器

総合包装株式会社

代表取締役会長 宮城 勇

〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町字小那覇1181番地
 ☎(098)946-5411(代)
 FAX(098)946-5442
 http://www.sogo-hoso.co.jp/
 携帯：090-3190-0107
 E-mail:miyagi-isam@sogo-hoso.co.jp



(株)宮昌工業

代表取締役 宮城 哲人氏



宮城 哲人氏

「教育・指導の徹底！人材を育てる！」これは、(株)宮昌工業の第四十二期経営方針。毎年、社長の宮城哲人さんが会社方針について、人材育成や技術、安全などの領域をA3用紙一枚に集約します。そこにはその年を表す文字が社長独特のタッチと色合いで特徴的に描かれています。

百年企業を目指して、次世代の人材育成が私の仕事

(株)宮昌工業は、金物やプラント関連の加工業として一九六三年に先代の父、宮城昌幸さんが創業。その後一九九六年に哲人さんが二代目社長に就任し、建築鉄骨の製作を主体に経営されています。当初は二代目になる気はなく、東京の土木系民

間会社に就職しましたが、家業の経営危機の際に先代より声がかかり、宮昌工業に入社します。その後、社長に就任し、五年間は先代とギクシャクする時期がありました。が、経営に取り組む姿勢を先代が認めてくれるようになり、経営に関して相談ができる関係になります。そして先代の最後の言葉は、「おまえは(哲人社長)は私が見てきた中で、技術力が一番ある。会社経営は心配してない。」という感動的な言葉でした。

これまで何度か経営危機はありましたが、苦し

《会社概要》

(株)宮昌工業
代表取締役社長 宮城 哲人氏
〈南部支部〉

所在地／(本社)南風原町字津嘉山1697番地
(西原工場)西原町字兼久398-1番地

TEL／098-889-2391

事業内容／鋼構造物工事業、建築工事業、クレーン製造

い中、社員の雇用を守り続け、社員の家族も含めて大切にされています。

「誠心誠意を尽くす」「筋を通す」の理念や人間性・倫理観を次世代に繋げようと、百年企業を目指して、次世代の人材育成に注力されています。(岩田税理士事務所・岩田進司)

望年会に参加するにあたり、会員企業さんのアイデアアウトメニユーを準備。参加者は事前にオーダーし、当日は会員企業さんの美味しいオードブルを食べながらの展開となりました。

望年会に欠かせないゲームも開催！イントロクイズ(沖縄を代表するお菓子といえど？というお題に各自で答えを書き、同じ答えを出せたら成功！という内容です)などオンラインでも参加できる内容に。もちろん、賞金もあり優勝者はオンラインでも贈れるソーシャルギフト(アマゾンギフト券など)をスマー

男性会員の参加者も多く、ご夫妻で参加された方もいらっしゃいました。毎年恒例の望年会がオンラインというスタイルに変わりましたが、四十名近くの参加者があり一年を締めくくるにふさわしいものになりました。(株)カリタス・根橋理香)



西瀨 泰氏

ビジネス連携部会「ゆいま〜る」11月部会例会
人間に優しい環境づくりを
EM技術の循環型ホテル経営

十一月二十五日、ビジネス連携部会「ゆいま〜る」十一月部会例会がZoomも併用して四十三名の参加で開催されました。EMウェルネスリゾート・代表取締役社長の西瀨泰氏が、「人の心と体を整えて持続可能な社会づくり会社づくり」EM技術の事業展開のこれまでとこれから」のテーマで報告しました。今年、十五周年を迎える



わかりやすい資料で報告

EMウェルネスリゾート。社長に就任し二年目の西瀨氏は、コロナ禍で激動する社会環境において有用微生物の技術を生かし発酵させることで、安心・安全な社会、人間に優しい環境づくりの経営(ホテル・農場・レストラン)を実践してきました。お客様の心と体を整えることを提供するコ

南部支部11月例会
前職の経験を基に、改善・見直しを徹底

十一月二十七日、南部支部十一月例会が南風原中央公民館とZoom併用で開催されました。(株)オキポリ・代表取締役社長の末吉正三氏が「改善・見直しに終わりはなく時代が求めるものは何か常に問う」をテーマに報告をしました。

末吉社長は、一九六〇年に伊平屋村で生まれ、

ンセプトで、循環型ホテルを目指し、ホテルから出た食品残渣をEMで肥料に変え、自社農場で活用し、野菜や鶏を育てています。

第一次、二次、三次産業を実践し、生産から消費者までの見える化で、社員を良きパートナーとして共に事業展開しており、特にEM技術は国内

碧の会望年会
テイクアウトも充実！
オンラインで楽しく望年会

十二月七日、碧の会望年会が史上初のオンライン開催。通常ならばホテルでドレスアップして華やかに行っていましたが、今年は「コロナ」の影響が予想されていたので、二カ月前から早々にオンライン開催を決定。会員交流委員会のメンバーが中心となり、綿密に計画していたので、オンラインでも十分に楽しい内容となりました。

菓子といえど？というお題に各自で答えを書き、同じ答えを出せたら成功！という内容です)などオンラインでも参加できる内容に。もちろん、賞金もあり優勝者はオンラインでも贈れるソーシャルギフト(アマゾンギフト券など)をスマー



末吉 正三氏(左)

いつでも
テレワーク

絶景オーシャンビュー！新しい勤務スタイルの実現！
コワーキングスペース 展望ラウンジ「感謝」

WELLNESS RESORT OKINAWA VACATION CENTER THE YUINCHI HOTEL NANJO
ウェルネスリゾート沖縄体験センター ユインチホテル南城

おかげさまで
40周年

医療・社会福祉施設研究所
有限会社 外間建築設計事務所
HOKAMA

沖縄県建築士事務所協会会員
日本医療福祉建築協会会員
沖縄県建築士会会員
沖縄県ソフトテニス連盟会長

日本建築家協会会員(JIA)
日本医療福祉設備協会会員
一級建築士事務所
(社)沖縄海洋基構理事

代表取締役 外間 勉

〒900-0022 沖縄県那覇市樋川2-14-16 TEL 098-855-7572
E-mail: t-hokama@hokama.co.jp FAX 098-855-7580

EMS (エネルギー・マネジメントシステム)

照明器具(LED)
空調機器(エアコン)
住宅設備(キッチン)

人材育成・キャリアの事なら

新光産業株式会社

快眠社会の実現を目指す
ソムノクエスト株式会社
SOMNOQUEST

代表取締役 薬学博士 江口 直美
日本睡眠学会評議員 薬剤師

〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1-16-3-1F
TEL 098-988-1141 FAX 098-988-1142
E-mail: naomi@somnoquest.com
MP: 090-3706-0862

社会貢献 3.0
日経ビジネス「日本を救う次世代ベンチャー100」選出企業
沖縄県福祉のまちづくり賞奨励賞受賞企業

株式会社 アイセック・ジャパン
代表取締役 社長 一瀬 宗也
Muneya Ichise

〒904-2203 iPhone: 090-8486-8344
沖縄県うるま市宇川崎468番地 TEL: 098-972-6888/FAX: 098-987-5627
いちゅい具志川じんぶん館 E-Mail: m.ichise@iscecj.co.jp
http://www.iscej.co.jp/

農業生産法人
有限会社 沖縄 北斗
～ 食の安全安心をお届けする ～
代表取締役社長 大城 照政
Terumasa Oshiro

〒905-1204
沖縄県国頭郡東村字平良971番地の2
TEL(0980)43-2054 FAX(0980)43-2474
E-mail: t-oshiro@okinawahokuto.com
http://okinawahokuto.com/



会員ホット情報

「今おすすめだよ！」



ビジョン看板をPRする竹本 哲氏



高田 明氏

北部支部30周年記念講演・懇親会
夢の実現へ、今日やるべきこと
臨場感のある高田節に感銘

十一月二十三日、北部支部設立三十周年記念講演会・懇親会が、ゆがふいんおきなわにて開催されました。北部支部三十年の歩みをVTRで振り返り、次の十年へと身が引き締まりました。講師は、ジャパネットたかたの創業者である高田明氏に、「夢を持ち続け日々精進」のテーマでお話を

いただきました。本来であれば会場にお呼びし、多くの方々にお話を聞いて欲しかったのですが、コロナ禍ということでもオンラインを活用し限られた人数での開催となりました。来場者の反応を伝えるために講師と会場の双方をオンラインでつ

なぎ、実際その場で話をしていたらどうなるかという臨場感のある講演となりました。テレビでお馴染みの独特の高い声から発せられる言葉は、胸に響くものが多く、たくさん学びにあふれていました。夢を持ち続けることの意味、その夢を実現するために、今日やるべ

きことをやっていくことの大切さを学びました。画面越しから伝わってくるエネルギーの大きさに圧倒され、数えきれない金言の多さに一時間の講演はあっという間に終わりました。当日は、他支部会員の他に、北部支部会員が連れてきたゲストも多く参加していただき、同友会の活動内容を紹介し、グループ討論の様子なども見ていただきました。



オンラインで講師と会場をつなぐ

また、実際の会員が同友会の魅力について、自身の体験を踏まえて語り、同友会に興味を持っていただけたという時間も用意いたしました。



ゲスト・他支部も参加し、盛況に開催

講演会後の懇親会では、鬼滅の刃の主人公、竈門炭治郎とその妹、禰豆子に扮した司会者二人が会場をおおいに盛り上げました。コロナウイルス感染対策を徹底的に行い、ソーシャルディスタンスを保ちながらの難しい懇親会でしたが、三十年を祝い、会員同士の交流はもちろん、同友会

に興味をもったゲストの方々とも懇親を深めることができました。次の十年、さらなる未来に向けて気持ちを新たにできた三十年記念事業になりました。（株）琉球若草・大森陽介）

タキは、香川県に本社を持つLED電光掲示板専門店です。代表が石垣島で仕事をしていたのがきっかけで、宮古、沖縄本島へと進出し、アフターフォローにも責任を持つために、六年前支店を構えました。屋号は「せんでん工房沖縄」です。竹本支店長は、共通の知り合いを通して声がかかり、全くの異業種から転職し、現在五年目を迎えます。

以前のLED看板は、昼間の太陽の光に負けて見えにくい上に、一枚のサイズが大きく割高でした。現在は改善されて、昼間でもよく見え、サイズも幅64cm×高さ32cmの組み合わせで省スペースにも対応。さらに、省エネ設計になっています。

営業先で実物と同じ、一押し「ビジョン看板（広告看板）」のデモンストレーションを見せてもらいました。「急に明るくなりますよ」と言

われたため、覚悟を持ってみる事ができたのですが、動画や小さな文字まで、動画や小さな文字まで明るく、鮮明に見える。タキの取り扱いは国内生産で、トップの輝度を誇る高性能品です。沖縄では、台風対策としてコンクリートの直書き

《会社概要》

(株)タキ
支店長 竹本 哲氏
(那覇支部)
所在地/那覇市小嶺699
TEL/098-987-4926
事業内容/サービス業 (LEDディスプレイ、デジタルサイネージ販売、メンテナンス)

「今こそ『アイキャッチ力』で販売促進を！」

「アイキャッチ力」を試しませんか？（事務局）

Advertisement for (株)建設技術者養成センター (CETC). Includes contact info for Sakaguchi Tomomi.

Advertisement for ナカマホーム株式会社 (Nakama Home Co., Ltd.) featuring Nakama Hikaru.

Advertisement for 株式会社 設備技研 (Giken Co., Ltd.) featuring Hirayama Tomohisa.

Advertisement for 沖繩塗装工業 (Okinawa Coating Industry) featuring Nagashima Naoki.

Advertisement for 株式会社 ゆにてっくす (Yunitekkusu Co., Ltd.) featuring Ishihara Masahiro.

Advertisement for 沖繩タイムス (Okinawa Times) featuring Zuke Hidehiko.

Advertisement for 株式会社 日本住宅保証検査機構 (Nippon Housing Guarantee Inspection Agency) listing various services.

Advertisement for 株式会社 ワークシステム (Work System Co., Ltd.) featuring Kurokawa Masahiro.

Advertisement for 株式会社 ダイワジム (Daiwajim Co., Ltd.) featuring Kaneshima Shiro.